

収集ごみから出火

□ 令和4年10月18日（火）午後0時5分頃
野田村内の不燃ごみ収集時に収集ごみから出火



出火原因の特定には至っていませんが、排出ごみの状況から中身が残っているスプレー缶から出火した可能性が高いと考えられます。
また、不燃ごみ収集時の火災の場合は、次のことが原因となるケースが考えられます。

- 集積場に出された不燃ごみで発火の原因となるもの
 - ・スプレー缶 ⇒ 中身が残っている・穴を開けていない
 - ・ストーブ類 ⇒ 灯油が残っている
 - ・ライター類 ⇒ ガスが残っている
 - ・その他機器 ⇒ 電池を取り外していない

小型充電式電池を取り外せない廃家電等は、集積場には出せません。「小型家電回収ボックスへの投入」または「粗大ごみ処理場への直接搬入」をお願いします。

この度の出火では、迅速な消火活動により大きな被害はありませんでしたが、ごみの収集中に火災が発生すると、収集作業員だけでなく通行人や家屋にまで被害が及ぶ大惨事になることもあります。

ごみ収集時の火災を防ぐため、ごみ出し前の安全確認をお願いします。

ごみ出し前の安全確認	スプレー缶類の穴開け時の注意事項
<ul style="list-style-type: none">・スプレー缶類はガスを出し、穴を開ける・ガスレンジやストーブ、電子機器等の電池は取り外す・ストーブ類の灯油は完全に抜き取る・<u>ライター</u>は、ガスを出し切ってから燃えるごみに出す	<ul style="list-style-type: none">・風通しが良く火の気のない屋外で行う・自分や周りにいる人にかからないよう風向きを確認する・穴を開ける前にガスを完全に押し切る・一度に大量の穴開けをしない

今後ごみ収集を安全に行うため、住民一人ひとりがルールとマナーを守って適切にごみを排出するようご理解とご協力をお願いします。